



医療法人 博慈会 内田病院 院長

内田 明宏氏

住民と一緒に進む病院目指す

1902年、曾祖父が別府市楠町に開設した診療所が始まり。今年で119周年を迎える「老舗」だ。「患者さんに『初めに診てもらったよ』という人もいて、うれしい一方で責任も感じる」。目を細める4代目は、患者の体調の変化だけでなく、生活状況にも気を配りながら「地元のかかりつけ医」を務める。

きょうだいで副院長の内田研医師、石田郁子医師らと診療に当たる。内科では、内視鏡を使った胃腸の検査や手術を手掛け、2019年4月～20年3月は501件の施術をこなした。整形外科では、人工膝関節置換術や関節鏡を使った手術を中心に、457件を実施した。先輩医師たちの背中を追う中で、患者に寄り添う姿勢を学んだという。「じっくり話を聞いて、言いづらいことを引き出すことが治療のためになる」。その思いは介護につながる。

病院がある別府市南部は高齢化が急速に進んでいる。「住み慣れた家で暮らし続けたい」という患者の声にどう応えるか考え、サービス付き高齢者住宅「つどい」を設けた。「医療が必要な人の介護を考えた結果、サ高住を選んだ」という。入院病床の全個室化（81床）も行った。トイレやシャワーもある。患者負担の個室料はない。「他の患者を意識せず、家族と過ごすことができる。自分が入院するならその方がいいので」。在宅医療や介護にも力を入れる。訪問看護やヘルパーのステーション、デイサービスセンター

を運営。「リハビリや生活習慣が崩れないように支えている。この町ですつとやってきた病院。住民と一緒に進みたい」。病院を支える職員と経営システムのケアも推進。▽全職員の健診を病院負担で外部委託▽内外環境精査で強みと弱みを洗い出し▽経営戦略の実践ツール「バランススコアカード」の利用▽新たな人事考課制度の導入―と多岐にわたる。「いずれも組織内の気付きや職員のやる気につながっていくと考えている。患者さんのためにも、楽しく仕事ができる環境を整えたい」と意気込む。



地域いきいき健康サロンも始まる

病院DATA

●診療科目

内科・内視鏡内科・整形外科・血液内科
外科・皮膚科・糖尿病内科
リハビリテーション科 ほか

●診療時間

月～土／8:30～12:00、13:00～17:30

●休診日

日曜、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）



医療法人 博慈会
内田病院

別府市末広町3-1
TEL0977-21-1341
<https://uchida-hp.jp>

